

## 2027年国際大会の派遣基準（2026年3月2日版）

### 【派遣の前提条件】

- （1） 国際派遣の予選大会は、2026年11月開催予定のスズキジャパンカップ（SJC）及び2027年1月開催予定のJOC袋井大会（JOC）とし、それぞれの大会で以下の基準を満たす選手を派遣対象とする。
- （2） 2027年の強化対象部門は、シニア・ジュニア/ユース共に、男女シングル・ミックスペア・トリオ・グループとする。
- （3） 選手は、日本国籍を有するJAF登録選手であり、大会主催者が定めるライセンス等を有すること。
- （4） 帯同コーチは、TA又はコーチ4の資格とWGコーチIDを有すること。帯同コーチは複数選手、複数部門の帯同を兼ねることが可能とする。
- （5） 派遣団は、「国際大会及び海外合宿等への派遣規程」に違反していないこと。

### 1. 国際体操連盟（以下「WG」）ワールドカップ

【方針】 ・シニアが国際大会の経験を積む大会と位置付け、「難度持ち点」は設けない。

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	2	SJC1位、2位（16.0点以上）	・基準点以上ならSJC6位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	2		
	ミックスペア	2	SJC1位、2位（15.5点以上）	・基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣
	トリオ	2		
	グループ	1		

## 2. 派遣会議が承認する第4グループ（※1参照）のWG国際大会（※2参照）

【方針】 ・シニア、ジュニア/ユースとも国際大会の経験を積む大会と位置付け、シニアの「難度持ち点」やジュニア/ユースの「基準点」は設けない。

※1 グループ分けはWG General Judges' Rules 国際大会区分に準拠

※2 第4グループの大会に関して、（公財）日本体操協会からDirectives（大会要項）が正式に届いた後に速やかに派遣の有無を派遣会議が判断する。

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	2	SJC1位、2位（16.0点以上）	・基準点以上ならSJCの6位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	2		
	ミックスペア	2	SJC1位、2位（15.5点以上）	・基準点以上ならSJCの3位まで繰り下げ派遣
	トリオ	2		
	グループ	2	SJC1位、2位（15.0点以上）	
	ダンス	1	SJC1位（14.5点以上）	
ジュニア/ユース	男子シングル	2	SJC1位、JOC1位（基準点ナシ）	・SJC1位が辞退した場合、JOC1位、2位を派遣
	女子シングル	2		・JOC1位が辞退した場合、SJC1位とJOC2位を派遣
	トリオ	2	SJC1位、JOC1位（基準点ナシ）	・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、SJC1位とJOC2位を派遣
	ミックスペア	2		・JOC2位が辞退した場合は、JOC6位まで繰り下げ派遣
	グループ	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・SJC1位が辞退した場合、JOC1位、2位を派遣
	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・JOC1位が辞退した場合、SJC1位とJOC2位を派遣	
	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、SJC1位とJOC2位を派遣	
	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・JOC2位が辞退した場合は、JOC3位まで繰り下げ派遣	
	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・JOC3位まで繰り下げ派遣	
	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・JOC3位まで繰り下げ派遣	

### 3. 《公式派遣》アジア選手権大会

【方針】 ・シニアは、WG世界選手権大会より基準点を低く設定し、大会時にアジア圏内で入賞可能な日本代表選手を派遣する。

・ジュニア/ユースは、国際大会参加の機会を得る大会とする。

【条件】 ・「基準点」と同時に「難度持ち点」をクリアした選手とする。（ダンス部門は基準点のみとする）

※3「難度持ち点」とは、難度審判員が審査対象のエレメントに対して行う評価結果としての難度点とは別に、選手が実施した難度審査対象のすべてのエレメントの難度評価点の合計点をいう。選手構成により、以下のように基準が変わる。

①男子のみ    ②男女混合    ③女子のみ

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	2	SJC1位、2位 (17.3点以上) 【難度持ち点 6.3点以上】	・基準点以上ならSJC6位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	2	SJC1位、2位 (17.0点以上) 【難度持ち点 6.0点以上】	
	ミックスペア	2	SJC1位、2位 (16.5点以上) 【難度持ち点 5.6点以上】	・基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣
	トリオ	2	SJC1位、2位 (16.5点以上) 【難度持ち点 (※3) ① 5.8点以上 / ② 5.6点以上 / ③ 5.4点以上】	
	グループ	1	SJC1位 (16.1点以上) 【難度持ち点 (※3) ① 5.6点以上 / ② 5.4点以上 / ③ 5.2点以上】	
	ダンス	1	SJC1位 (15.2点以上)	
ジュニア	男子シングル	2	SJC1位、JOC1位 (15.7点以上)	・SJC1位が辞退した場合、基準点以上ならJOC1位、2位を派遣
	女子シングル	2		・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	トリオ	2	SJC1位、JOC1位 (15.7点以上)	・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	ミックスペア	2	JOC1位、2位 (15.7点以上)	・JOC2位が辞退した場合は、基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
	グループ	1	JOC1位 (15.5点以上)	・基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
ユース	男子シングル	2	SJC1位、JOC1位 (15.5点以上)	・SJC1位が辞退した場合、基準点以上ならJOC1位、2位を派遣
	女子シングル	2		・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	トリオ	2	SJC1位、JOC1位 (15.5点以上)	・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	ミックスペア	2	JOC1位、2位 (15.5点以上)	・JOC2位が辞退した場合は、基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
	グループ	1	JOC1位 (15.5点以上)	・基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣

#### 4. 特記事項（派遣大会共通）

①前項の派遣基準に加え、特段の理由があれば国際大会派遣会議が派遣を推薦することができる。

（例）シニアトリオ部門で派遣対象となった選手が、上位選手の辞退によりシングル部門での繰り下げ派遣対象となった。僅差（0.0を超えて0.3程度）で基準点に達しなかったため本来は出場資格がなかったがトリオ部門と合わせて派遣とする等

②派遣大会が「スズキジャパンカップ」の開催の前後3週間以内で開催される場合、原則として派遣しない。

③派遣辞退により繰り下げの対象になっても、WGライセンスの取得が間に合わない、もしくは帯同コーチのWGコーチIDの取得が間に合わない場合は派遣しない。

④選考大会終了後、トリオ部門（1名）とグループ部門（2名）、ダンス部門（3名）のメンバー変更を認める。

⑤選考大会終了後、ミックスペア部門のメンバー変更は認めない。

⑥派遣先の安全性の確保が難しい場合や、経済的・人的資源の確保が困難な場合など、社会的情勢によっては国際派遣が中止となることがある。